

オール沖縄 衆議院沖縄4区予定候補

金城

トオルの政策

トオル

子ども達の未来に 大きな夢を!

オール沖縄の風を受けて翁長知事が誕生した。このことは、これまで県民が基地を挟んで相争ってきた歴史を終わらせました。保革を乗り越え「辺野古に新基地を造らせない」という一点においてまとまり、多くの県民を勇気づけ、その熱気は全县にひろがりました。

しかしながら、政府の高圧的で強硬な姿勢は、これ以上の基地負担を拒否する県民の思いをないがしろにし、踏みつぶそうとしています。

幾多の困難を団結して乗り越えてきたウチナーの先達たちの肝心(チムググル)を継ぐ「オール沖縄」。その火を灯し続け、全国へひろげることが、日本の政治を変えていく力になると確信しています。

私は、保育の課題解決を図るため政治の場に身を置き現在まで28年、子供達のために全力を尽くしてきました。これからの未来を担う子や孫が大きな夢を持てる、誇りある豊かな沖縄を残すために又チカジリ頑張り抜く決意です。

金城 徹



前衆議院議員 仲里利信さんと力をあわせて がんばります!

トオルの基本理念

トオルが目指す未来の沖縄

1. 一人ひとりの命が等しく大切にされる沖縄
2. 一人ひとりが豊かな暮らしを実感できる沖縄
3. 一人ひとりの声が政治に活かされる沖縄

衆議院沖縄4区

豊見城市・糸満市・南城市・宮古島市・石垣市・南風原町・八重瀬町・与那原町・竹富町・与那国町・多良間村

LINE@
金城トオル

お友達登録
お願いします!



保守からオール沖縄へ なぜ?

沖縄の保守として故翁長知事とともに

2013年のオスプレイ配備撤回、県内移設断念を求める「建白書」が、今に続く「オール沖縄」の大きな政治的な流れをつくり、翁長雄志知事を誕生させました。県民の思いを踏みにじる自民党政権のやり方は、地方自治のあり方を否定し、民主主義を断ち切る行為で、これを許すことができませんでした。過重な基地負担をはじめとする、困難な立場に置かれている沖縄において、政治は一つの塊になって問題解決に向かっていかなければなりません。「島ぐるみ」で祖国復帰を果たしたときのように、県民が一丸となって立ち向かう時だと決意しました。

翁長知事を中心に県民がまとまり、辺野古新基地を建設断念に追い込む。当時からの気概を持って頑張ってきました。



翁長那覇市長(当時)と市長室にて

デニー知事を支え未来に誇れる沖縄を!

翁長知事の死去に伴い、遺志を引き継いだ玉城デニー知事が誕生しました。県民投票では圧倒的な民意で辺野古反対の意思を県民は示しました。

「未来に誇れる沖縄」を「誇りある豊かな沖縄」を目指して玉城デニー知事を支え、沖縄から始まった保守も革新も中道も含めたこの運動を盛り上げることが、これからの日本を発展させる大きな力になると思います。その為にもオール沖縄の運動をさらに盛り上げて全国の運動へとひろげていきます。



どんな子ども時代だったの?

身近に感じていた沖縄の不条理

私の出身地は那覇市垣花町で現在では那覇軍港の中、実家は軍港の向かい側、山下町で銭湯を営んでいました。

父を亡くし長男兄と母、祖母が切り盛りをしていました。当時周辺は、米兵がたむろし、米兵相手の飲み屋もかなりありました。ある日、十数人の米兵が酒に酔って、銭湯に押しかけてきました。拳銃を抜き、これ見よがしに威嚇し、女湯に入り込む。我が物顔でした。母から「警官を呼びに、交番に行け」と言われましたが、足がすくんで動けなかった。今もこの記憶が消えることはありません。こんなことがあっても事件にもならない。この様な不条理が当時の沖縄ではよくありました。



当時4歳 父と山下町にて



当時20歳 学生時代

政治家を志したきっかけは?

声なき声の代弁者として

1979年、25歳で保育園の経営を始めました。子ども達が成長していく姿を親よりも近くで寄り添える仕事は、自身の子育てとも重なり、やりがいを感じていました。30歳のとき那覇市保育園長会の会長となりました。保育環境の改善のため議会へ陳情・要請等を行う中、子育て世代の声が政治に反映されにくいという、もどかしさを感じていました。子育て世代の意見を、声なき声の代弁者として、私は1992年に自民党公認で那覇市議に初当選をしました。当時は基地を否定するのではなく現実的にどう経済発展に活かせるかを考えていました。沖縄の子や孫たちのために、将来の沖縄がどうあるべきか。その中で沖縄の保守として日米同盟、日米安保体制のよりよいあり方を考えてきました。



当時37歳 那覇市議に出馬



国政へのチャレンジを 全力で応援します。

金城トオルさんは、沖縄の保守中道の政治家として、オール沖縄の要としてこれまで頑張ってきました。知事選挙では先頭に立って奮闘してください、知事当選後は後援会の副会長としても支えていただいています。

この度、国政へのチャレンジを決意された金城トオルさんを、なんとしても国政へ送り、沖縄から平和のための声を、立場の弱い方々の思いを、しっかりと国政で実現できるように応援の声、支援の輪をひろげてください。

金城トオルさんをどうぞよろしくお願いたします。



沖縄県知事
玉城デニー



金城トオル プロフィール

オール沖縄会議共同代表
立憲民主党 沖縄第4区総支部長
前・政策集団「新しい風・にぬふあぶし」共同代表

経歴

昭和28年 沖縄県那覇市生まれ、久茂地小、那覇中、豊見城高校、名古屋電気通信工学院卒業、昭和54年 社会福祉法人千草福祉会設立、昭和56年 千草保育園 園長就任、平成4年 那覇市議会議員(6期)、平成21年 那覇市議会議員(2期)、平成26年 オール沖縄へ参加、令和元年 オール沖縄会議共同代表就任

● 家族:妻、子4人、孫8人

● 趣味 読書、映画鑑賞、釣り

これまでの社会活動

元社会福祉法人日本保育協会沖縄県支部 事務局長・相談役、那覇大綱史保存会垣花実行委員会 顧問を歴任

4区ひやみかち・うまんちゅの会
ニュース No.1

〒901-0223
豊見城市翁長854-2
サクセスビル103号室

☎098-996-4861
fax.098-996-5280

内部資料



トオルの政策

16のお約束

うまんちゅと創る明日の沖縄

TORU VISION

子どもたちに大きな夢を 子育て・教育



子どもと親の貧困解消

子どもたちへの教育支援を拡充し、教育費の無償化等で親の経済負担を減らします。生活支援や就労支援を並行して行ない、子どもの貧困とその連鎖を防ぎます。

教育環境の改善

本島南部・宮古・八重山への大学等高等教育機関の整備を進め、等しく教育が受けられる環境をつくります。

待機児童ゼロへ

希望する保育園へ入れるよう、地域ニーズに即した保育園整備を進め、保育園の適正配置を行い、待機児童を解消します。

アジアへはばたく 経済

畜産業の支援・育成

沖縄県内で国際基準(ハサブ)を満たした食品加工ができる体制を早急に整備します。

農産品・水産品の輸送費補助

県内・離島でとれた、農産品・水産品の輸送費を補助し、海外・県外への出荷拡大を進めます。



うちなーの尊厳を守る 平和

平和



辺野古新基地建設反対

建白書に基づき、オスプレイ配備の撤回を求め、米軍普天間基地を閉鎖、撤去し、県内移設の断念を実現します。戦没者の遺骨が含まれた土砂は使わせません。

日米地位協定改定

在日米軍基地問題については、地元の基地負担軽減を進め、日米地位協定の改定を提起します。

豊かなうちなーへ 暮らし

労働格差の是正

労働条件や賃金における不当な格差を是正します。誰もが公正な条件で多様な働き方が出来る社会を実現します。

交通基盤の整備

南部地域へ鉄軌道導入、離島地域の港湾施設の整備等、交通基盤の整備を進めます。



うまんちゅ輝く社会 福祉



安心できる年金制度

年金制度への信頼を回復し、安心して老後が過ごせる持続可能な社会を構築します。

高齢者施設の整備

地域ニーズに即した特別養護老人ホーム等の高齢者施設の整備を進めます。

障がい者の自立支援 生活・就労支援

障がい者の自立支援、生活・就労支援を強く推進します。そのためにも当事者、家族の声が届く体制を強化します。



誰ひとり取り残さない 多様性



女性の権利が守られる社会

女性の地位と権利を守り、あらゆる場面で女性が活躍できる社会を実現します。

ジェンダー平等社会

LGBTsに対する差別を解消し、一人ひとりが尊重されるジェンダー平等の社会を、多様な生き方を認め合う社会を実現します。選択的夫婦別姓の実現に取り組みます。

鳥ちゃび解消に向けて 離島振興



生活コストの軽減

離島におけるガソリン価格・水道料金などの生活コストの軽減に取り組みます。

医療格差の是正

緊急搬送体制の拡充など、離島においても等しく医療が受けられる体制を構築するため、さらなる支援強化を進めます。

命と暮らしを守る コロナ対策

社会経済と感染対策を両立し ZEROコロナを実現します!

◇コロナから県民の「暮らし」を守る

- ・生活が困窮している学生に対し、学費の半額補助等の支援策を拡充します。
- ・生活困窮世帯や子どものいる低所得者世帯へ給付金の再給付を行います。

◇コロナから県民の「仕事」を守る

- ・持続化給付金や家賃支援給付金を再給付し、減収要件等の要件を緩和することにより、事業者・事業所を守ります。
- ・失業や収入が減った世帯に対し、税金・社会保険料の支払い猶予・減免措置を行います。

◇コロナから県民の「医療」を守る

- ・希望する全ての患者に病床と療養施設を確保し、さらなる感染拡大を防止します。
- ・医療に携わる方、介護士や保育士等社会の生活維持に欠かせない職種の方々への慰労支援の対象拡大と再給付を行います。

◇コロナから県民の「命」を守る

- ・医療資源の乏しい離島をはじめ、医療関係者や高齢者への速やかなワクチン接種を行い、希望する全県民への迅速なワクチン接種体制を構築します。
- ・医療関係者をはじめ、社会生活の維持に欠かせない職種の方々への無料定期検査を行います。

